

平成30年10月29日
東京土地家屋調査士会
研 修 部

「G空間EXPO2018」におけるシンポジウム の開催について（お知らせ）

このたび、日本土地家屋調査士会連合会より、標記シンポジウムの開催について別紙のとおり、案内がありました。

なお、当該シンポジウムにつきましては、事前の申込は不要とのことでありますので、参加（参加費：無料※ 常設展示をご覧になる場合には入館料が必要）を希望される会員におかれては、直接会場に向かわれますよう、お知らせ致します。

また、出席された会員におかれては、会場で配布されるレジュメや資料の写しとともに、別添の「参加申告書」を、ファクシミリ（03-3295-4770）又はEメール（info@tokyo-chousashi.or.jp）により、本会へ送付する方法をもって、土地家屋調査士CPDポイント（1ポイント/日）の付与申告をいただけますよう、お願い致します。

日調連発第200号

平成30年10月29日

各土地家屋調査士会長 殿

日本土地家屋調査士会連合会長

G空間EXPO2018におけるシンポジウムの開催について（ご案内）

当連合会の会務運営につき、ご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、来る11月15日（木）から17日（土）の3日間、日本科学未来館（東京・お台場）において「G空間EXPO2018」が開催されますが、会報やEメールマンスリーでもお知らせしているとおり、当連合会では、土地家屋調査士制度をPRすることを目的としたシンポジウムを下記のとおり開催します。

当日は入退場自由です。1日でなくとも午前又は午後のみなど、ご都合の付く時間帯のみでも結構です。是非、全国の皆様から多くのご参加をいただきたく、ご案内申し上げます。

なお、上記シンポジウムは、土地家屋調査士CPDポイントの対象となりますので、この旨申し添えます。

記

G空間EXPO2018 シンポジウム

『QZSSが創る新たな不動産登記制度とは？

～所有者不明土地問題を解決する地籍制度の創設～』

日 時 平成30年11月16日（金）午前10時30分 ～ 午後4時

場 所 日本科学未来館 7階 イノベーションホール

東京都江東区青海2-3-6

参加費 無料

定 員 約160名（申込み不要、入退場自由）

概 要

いよいよ11月1日から準天頂衛星みちびき（QZSS）のサービスが開始されます。

午前の部ではQZSS受信機の最先端情報をお届けするために全ての関連するメーカー（7

社を予定)に参加をお願いしました。今までの測量機器メーカー以外の企業がこの業界に進出してきています。また、システムにおいては基準点測量の概念を変えるような機器も出てきました。会場内での展示もお願いしましたので、見てみたい又は購入したいという会員の方は、是非ご来場ください。

午後の部では、まず、JFS（日本測量者連盟）から、国土交通省が所有者不明土地問題に絡めた GIS 整備を全国的に行う動きなど、地籍情報の GIS の現状及び地籍情報の標準化についての最近の動向を、また、SPAC（一般財団法人 衛星測位利用推進センター）からは、今後始まる QZSS のサービスの在り方について内閣府の関与する高精度衛星測位サービス利用促進協議会（QBIC）において日本土地家屋調査士会連合会も参加して一緒に検討してきた QZSS を利用した不動産登記制度の将来像について語っていただきます。

さらに、法務省の江口地図企画官からは、我々が大変興味を持っている未来投資会議や官民オープンデータ基本計画などで協議されている「地図のオープンデータ化」の今後について、また、「登記制度・土地所有権の在り方等に関する研究会」についての最新情報を聴講することができます。

最後に、鈴木常任理事から、こうした内閣府が主導で急激な社会構造の変化をもたらしたことによって、産業構造も再編が求められる時代へと変わってきたので、今後の社会に活躍できる土地家屋調査士像について語っていただきます。

本シンポジウムは、我々の将来を見据えた時に重要となる今の社会問題の解決方法について皆さんと共に、これからの地籍情報の管理の専門家としての在り方について考えることを目的としています。

進行予定

QZSS 観測の現状報告＋ミニ展示

QZSS 受信機等の開発会社からの開発現状報告

研究報告 1 海津 優氏（JFS 第 7 分科会代表者）

「地籍の GIS を巡る最近の動向を考える」

研究報告 2 浅里幸起氏（SPAC 事業推進本部技術開発部長）

「準天頂衛星の精密測位が創る不動産登記の新時代」

基調講演 江口幹太氏（法務省民事局民事第二課地図企画官）

「不動産登記における地図・所有者情報の今後について」

現状報告 鈴木泰介（連合会常任理事）

「G 空間社会に対応する土地家屋調査士」

※ 演題等は変更になる可能性もあります。

司 会 東 良憲（連合会広報部理事）

以上

CPDポイント付与に係る
参 加 申 告 書

※ 参加後に、本紙をもって、
東京土地家屋調査士会まで、
CPDポイントの付与申告
を行ってください。

東京土地家屋調査士会 御中

下記のとおり研修会等へ参加しましたので、土地家屋調査士CPDポイントの付与を申告し
ます。

記

平成 年 月 日

印

研修会等の名称	
講 師 名 ※ 1	
参加日時	
開催場所	
添付書類 ※ 2	
備 考	

※ 1 講師不在の場合は未記入、講師が複数いる場合は主な講師名ほか●名と記入（日調連太郎ほか2名）

※ 2 会場で配布されるレジュメや資料の写しを添付する必要があるため、その名称を記入してください。

※ 3 研修会によってはポイントの対象外となることがありますので、ご了承ください。